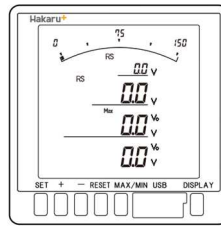


電子式マルチメータ
XM3-110-5 シリーズ
(零相電圧検出タイプ)
取扱説明書



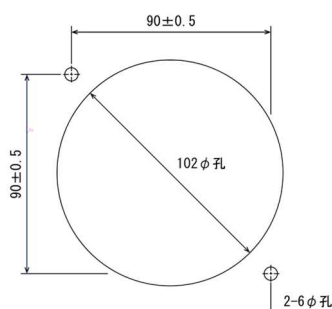
こちらは簡易版です。詳細版（基本操作編）等は、<https://hakaru.jp> をご確認ください。

⚠️ ご注意

- ◇本体は精密機器ですので、落とさないようにしてください。
- ◇本体を分解、改造しないでください。
- ◇本体に雨水等が直接かからないようにしてください。
- ◇本体の汚れ・ホコリ等を拭きとる場合は、乾いた布で拭きとってください。
- ◇汚れがひどい場合は、固く絞った濡れ雑巾で拭きとってください。
- ◇ベンジン・アルコール・シンナーは絶対に使用しないでください。
- ◇本体内にゴミ等が入る恐れがある作業を行なう場合は、本体にカバーをして異物が入らないようにしてください。
- ◇本体を直射日光が当たる場所、温度の異常に高い場所・異常に低い場所、湿気や塵埃の多い場所へ設置しないでください。
- ◇端子台への配線は圧着端子を使用して確実に締めてください。
- ◇最大入力電圧値・電流値以上の入力を加えないでください。
- ◇補助電源が停電時は表示が消え、出力が0になります。
- ◇活線状態では端子部に手を触れないでください。感電の危険があります。
- ◇活線状態では VT2 次側からの入力線は決してショート（短絡）しないでください。
- ◇通信線、アナログ出力は動力ケーブル、高圧ケーブルと平行して設置せず、交差する場合も間隔を取って設置してください。
- ◇電圧入力端子のいずれかの端子はアースに接地するようにしてください。
- ◇USB からの給電を行っている際は、補助電源の投入を行わないでください。
- ◇USB 給電のみでの画面点灯時は画面・設定の確認のみ可能です。精度保証及び出力は行いませんので、ご注意ください。
- ◇本説明書には、オプション機能（御発注時の選択機能）もあわせて説明しています。搭載していない機能は設定無効または、設定できませんので、御考慮いただきお読みいただきますようお願いいたします。
- ◇製品、及び、説明書は、改善・改良のために予告なく変更する場合があります。御了承ください。

取付方法

盤穴あけ寸法は以下のとおりです。

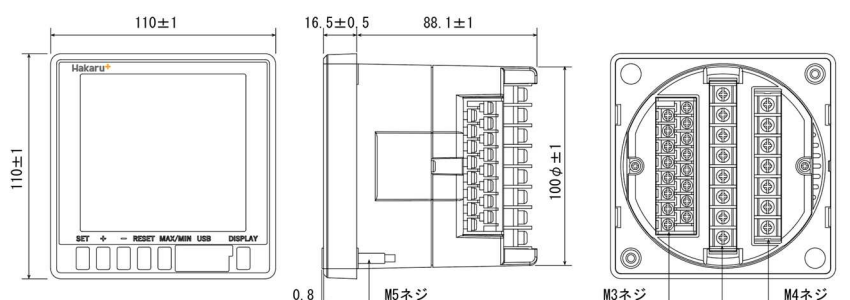


盤穴あけ寸法（正面から見た図）

端子台内のり寸法

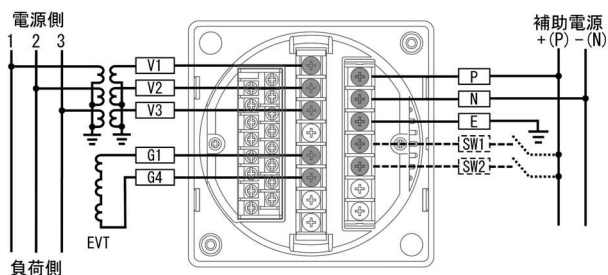
M4 ネジ用 8.6±0.5mm

M3 ネジ用 6.4±0.5mm（端子カバー付）



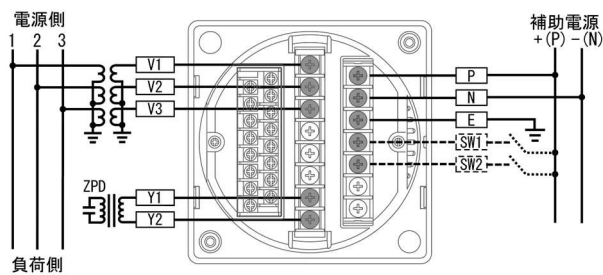
接続方法（例）

(1) EVT 方式の場合



電圧ダイレクト入力の場合：VT 不要
一次側が低圧回路の場合：VT・CT 接地不要

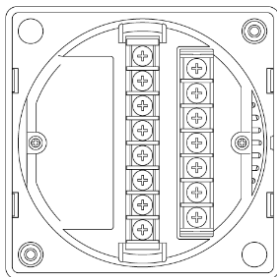
(2) ZPD 方式の場合



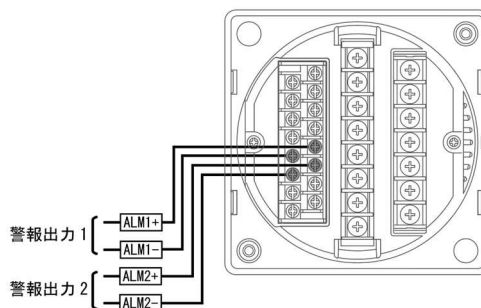
電圧ダイレクト入力の場合：VT 不要
一次側が低圧回路の場合：VT・CT 接地不要

- ・ V1-V2 間に必ず電圧を入力してください。(V1-V2 間に電圧入力がない場合は零相電圧の計測が誤差になるおそれがあります。)
- ・ SW1・SW2 は、本体設定により外部操作機能または、DI 機能を選択できます。SW1・SW2 の COM 端子は、いずれの機能選択時も補助電源 - (N) 端子になります。

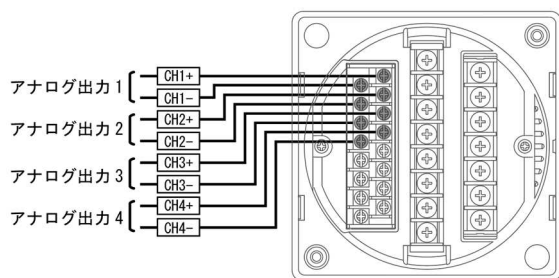
(3) オプション無しの場合



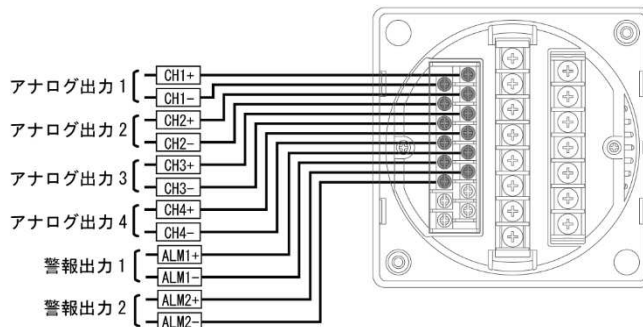
(4) 警報出力 2 点の場合



(5) アナログ出力 4 チャンネルの場合

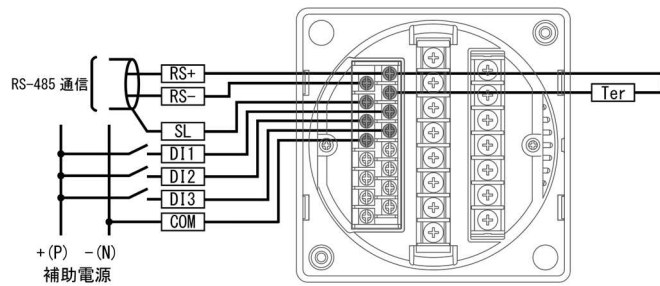


(6) アナログ出力 4 チャンネル+警報出力 2 点の場合

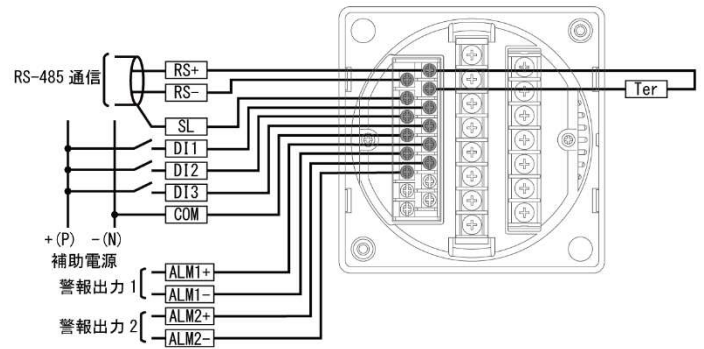


アナログ出力 4 チャンネルの - (マイナス) 側は、内部で共通 (接続) されています。

(7) RS-485 通信の場合

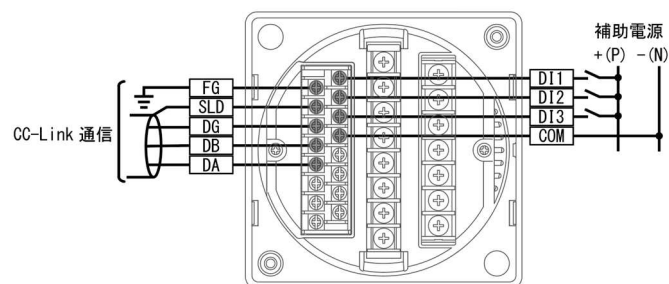


(8) RS-485 通信+警報出力 2 点の場合

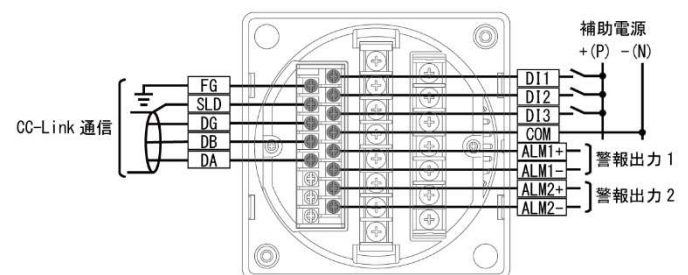


RS-485 通信の Ter, RS+ 端子をショートすることにより終端抵抗が内部で接続できます。
RS-485 通信の DI は直流入力の場合、基本マイナスコモンですが、プラスコモンでも使用可能です。

(9) CC-Link 通信の場合

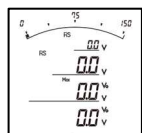


(9) CC-Link 通信の場合



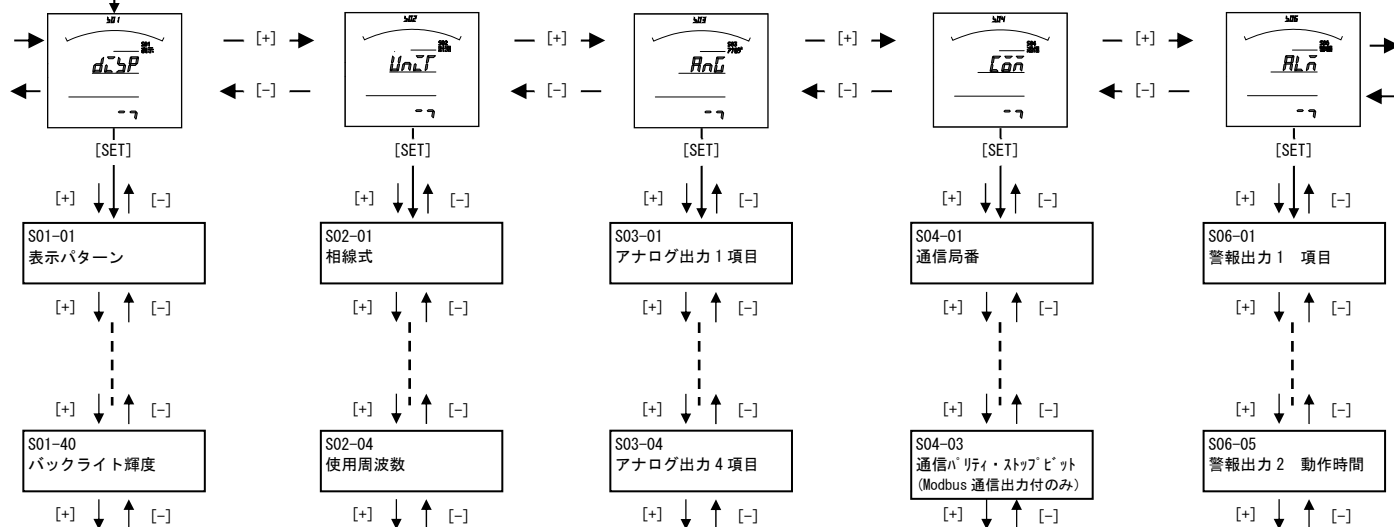
CC-Link 通信の DI は直流入力の場合、基本マイナスコモンですが、プラスコモンでも使用可能です。

設定フロー



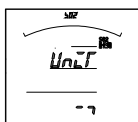
[SET] + [+] 長押

計測画面を表示している状態で、[SET]と[+]を同時に押し続けると、設定画面に切り替わります。どの画面からでも、[DISPLAY]キーを押すと、計測画面に戻ります。



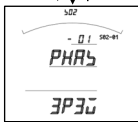
※設定方法は P. 4～6 をご参照ください

計測関係の設定方法



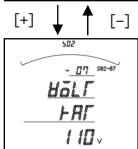
[SET]

[+] [-]



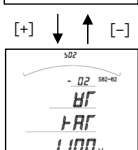
S02-01: 相線式 (変更不可)

- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)



S02-07: 電圧入力定格 (変更不可)

- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)



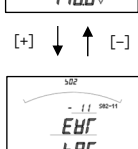
S02-02: VT 一次側定格値

設定方法

- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [MAX/MIN] を押し、4桁、3桁を変更します。
- ④ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)

設定値

VT 一次側定格
設定値
110V
220V
440V
3300V
6600V
11kV
22kV
33kV
66kV
77kV

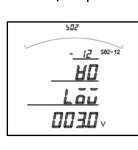


S02-11: EVT 三次側定格値設定

(ZPD タイプの場合、仕様に合わせて選択してください)

設定方法

- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [MAX/MIN] を押し、4桁、3桁を変更します。
- ④ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)



S02-12: 零相電圧 最小表示値設定

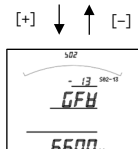
(三次側で 1.5V~15.0V の範囲を一次側の値で設定)

設定方法

- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)

設定値

EVT 三次側定格
設定値
110V
190.5V



S02-13: 完全地絡電圧

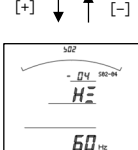
(VT-次側電圧の 1 倍、1/√3 倍から選択)

設定方法

- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)

設定値

完全地絡電圧
設定値
VT-次側定格電圧の 1 倍値
VT-次側定格電圧の 1/√3 倍値



S02-04: 使用周波数

設定方法

- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)

設定値

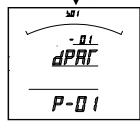
表示	設定値
60	60Hz
50	50Hz

表示関係の設定方法



[SET]

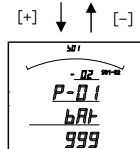
[+] [-]



S01-01: 表示パターン設定

設定方法

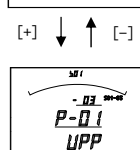
- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)



S01-02: 表示任意設定 P1 パー 1 ページ目
(表示パターンを [P-00] に設定した場合、表示します。)

設定方法

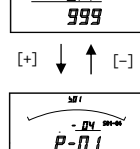
- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)



S01-03: 表示任意設定 P1 上段 1 ページ目
(表示パターンを [P-00] に設定した場合、表示します。)

設定方法

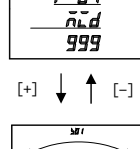
- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)



S01-04: 表示任意設定 P1 中段 1 ページ目
(表示パターンを [P-00] に設定した場合、表示します。)

設定方法

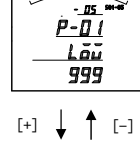
- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)



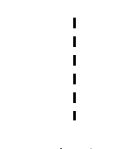
S01-05: 表示任意設定 P1 下段 1 ページ目
(表示パターンを [P-00] に設定した場合、表示します。)

設定方法

- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)



この間に表示任意設定の 2 ページ目～9 ページ目までの各段の設定画面が表示されます。
操作方法は 1 ページ目 (S01-02～S01-05) と同じです。



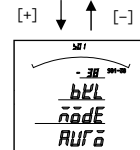
S01-38: バックライト動作

設定方法

- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)

設定値

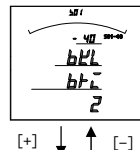
表示	設定値
AUTO	自動消灯
ON	点灯
OFF	消灯



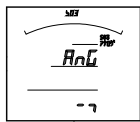
S01-40: バックライト輝度

設定方法

- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)



アナログ出力関係の設定方法

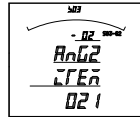


[SET]

[+] ↓ ↑ [-]



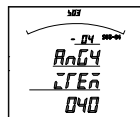
[+] ↓ ↑ [-]



[+] ↓ ↑ [-]



[+] ↓ ↑ [-]



[+] ↓ ↑ [-]



[+] ↓ ↑ [-]



[+] ↓ ↑ [-]



[+] ↓ ↑ [-]

S03-01: アナログ出力 1 項目

設定方法

- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)

S03-02: アナログ出力 2 項目

設定方法

- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)

S03-03: アナログ出力 3 項目

設定方法

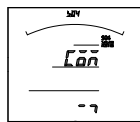
- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)

S03-04: アナログ出力 4 項目

設定方法

- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)

通信関係の設定方法 (RS-485 通信出力付)

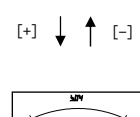


[SET]

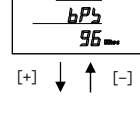
[+] ↓ ↑ [-]



[+] ↓ ↑ [-]



[+] ↓ ↑ [-]



[+] ↓ ↑ [-]

S04-01: RS-485 通信 通信局番 (000~250 の範囲で、10 進数で設定)

設定方法

- ① [SET] を押します。(下段の設定値の 1 桁目が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値の 2 桁目が点滅します)
- ④ [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ⑤ [SET] を押します。(下段の設定値の 3 桁目が点滅します)
- ⑥ [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ⑦ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)

S04-02: RS-485 通信 通信速度

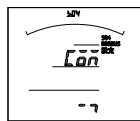
設定方法

- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)

設定値

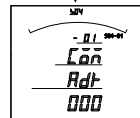
表示	通信速度
12	1200BPS
24	2400BPS
48	4800BPS
96	9600BPS
192	19200BPS

通信関係の設定のしかた (Modbus 通信出力付)

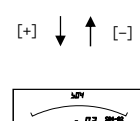


[SET]

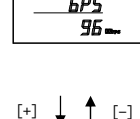
[+] ↓ ↑ [-]



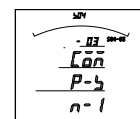
[+] ↓ ↑ [-]



[+] ↓ ↑ [-]



[+] ↓ ↑ [-]



[+] ↓ ↑ [-]

S04-01: Modbus 通信 通信局番 (000~250 の範囲で、10 進数で設定)

設定方法

- ① [SET] を押します。(下段の設定値の 1 桁目が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値の 2 桁目が点滅します)
- ④ [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ⑤ [SET] を押します。(下段の設定値の 3 桁目が点滅します)
- ⑥ [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ⑦ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)

S04-02: Modbus 通信 通信速度

設定方法

- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)

設定値

表示	通信速度
12	1200BPS
24	2400BPS
48	4800BPS
96	9600BPS
192	19200BPS

S04-03: Modbus 通信 パリティ・ストップビット

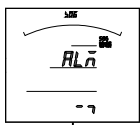
設定方法

- ① [SET] を押します。(下段の設定値が点滅します)
- ② [+], [-] を押し、設定値を変更します。
- ③ [SET] を押します。(下段の設定値が点灯します)

設定値

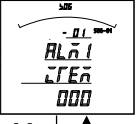
表示	パリティ・ストップビット
N-1	無・1
E-1	偶数・1
O-1	奇数・1
N-2	無・2
E-2	偶数・2
O-2	奇数・2

警報出力関係の設定のしかた

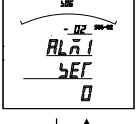


[SET]

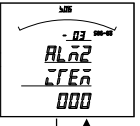
[+] ↓ | [-]



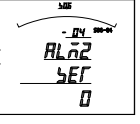
[+] ↓ ↑ [-]



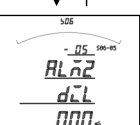
[+] ↓ ↑ [-]



[+] ↓ ↑ [-]



[+] ↓ ↑ [-]



[+] ↓ ↑ [-]

S06-01：警報出力1 項目

設定方法

①[SET]を押します。(下段の設定値が点滅します)

②[+]、[-]を押し、設定値を変更します。

③[SET]を押します。(下段の設定値が点灯します)

S06-02：警報出力1 設定値設定
(定格の0%~100%の範囲で設定可能。一次側の値で設定。)

設定方法

①[SET]を押します。(下段の設定値が点滅します)

②[+]、[-]を押し、設定値を変更します。

③[SET]を押します。(下段の設定値が点灯します)

S06-03：警報出力2 項目

設定方法

①[SET]を押します。(下段の設定値が点滅します)

②[+]、[-]を押し、設定値を変更します。

③[SET]を押します。(下段の設定値が点灯します)

S06-04：警報出力2 設定値設定
(定格の0%~100%の範囲で設定可能。一次側の値で設定。)

設定方法

①[SET]を押します。(下段の設定値が点滅します)

②[+]、[-]を押し、設定値を変更します。

③[SET]を押します。(下段の設定値が点灯します)

S06-05：警報出力2 動作時間設定

設定方法

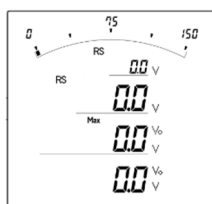
①[SET]を押します。(下段の設定値が点滅します)

②[+]、[-]を押し、設定値を変更します。

③[SET]を押します。(下段の設定値が点灯します)

設定値

動作時間
0.00 秒(瞬時)
0.05 秒
0.10 秒
0.20 秒
0.30 秒
0.40 秒
0.50 秒
1.00 秒
2.00 秒
3.00 秒
4.00 秒
5.00 秒

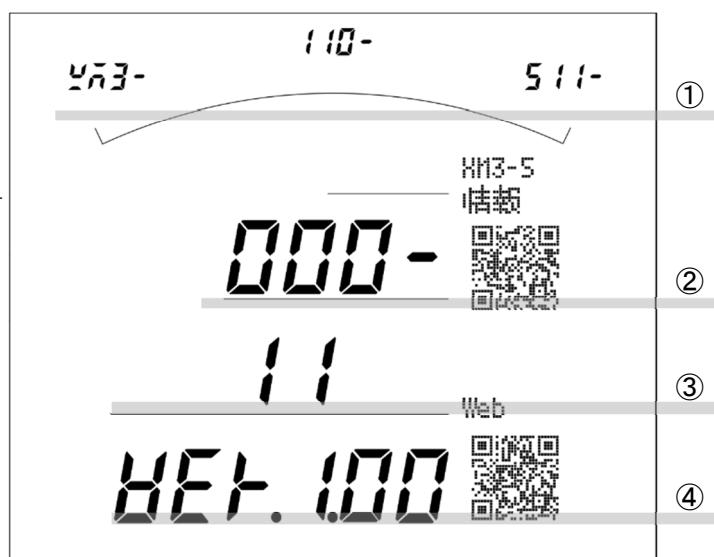


[+][-]長押

この画面では、「製品形名」「ソフトバージョン」情報を表示しています。

【表示例】 XM3-110-511-000-11 ソフト VER. 1.00
 ① ② ③ ④

[DISPLAY]



表示方法：計測画面を表示している状態で、[+]と[-]を同時に押し続けると
 形名・2次元コード表示画面に切り替わります。
 [DISPLAY]キーを押すと、計測画面に戻ります。

また、2次元コード読み込みで、下記情報が手軽に収集できます。

情報



左記、2次元コード読み込みで、「製品形名」「製造番号」が確認可能。
 情報はテキストデータで表示されます。
 例) XM3-110-511-000-11 , 20161001
 製品形名 製造番号

Web



左記、2次元コード読み込みで、Web上の専用ページへ移動が可能。
[URL: https://energy-measuring.jp/product/xm3-110-5/#anc_d11](https://energy-measuring.jp/product/xm3-110-5/#anc_d11)
 仕様書、取扱説明書、通信仕様書などダウンロードができます。

※上記の2次元コードは参考図になります。
 読み込んだ場合、記載内容と異なる情報が表示されます。

設定項目一覧

設定番号	設定項目	初期値	記載頁
S01-01	表示パターン	P-01	4P
S01-02	表示パターン任意設定 P1 バーグラフ	999 (END)	4P
S01-03	表示パターン任意設定 P1 上段	999 (END)	4P
S01-04	表示パターン任意設定 P1 中段	999 (END)	4P
S01-05	表示パターン任意設定 P1 下段	999 (END)	4P
S01-06	表示パターン任意設定 P2 バーグラフ	999 (END)	4P
S01-07	表示パターン任意設定 P2 上段	999 (END)	4P
S01-08	表示パターン任意設定 P2 中段	999 (END)	4P
S01-09	表示パターン任意設定 P2 下段	999 (END)	4P
S01-10	表示パターン任意設定 P3 バーグラフ	999 (END)	4P
S01-11	表示パターン任意設定 P3 上段	999 (END)	4P
S01-12	表示パターン任意設定 P3 中段	999 (END)	4P
S01-13	表示パターン任意設定 P3 下段	999 (END)	4P
S01-14	表示パターン任意設定 P4 バーグラフ	999 (END)	4P
S01-15	表示パターン任意設定 P4 上段	999 (END)	4P
S01-16	表示パターン任意設定 P4 中段	999 (END)	4P
S01-17	表示パターン任意設定 P4 下段	999 (END)	4P
S01-18	表示パターン任意設定 P5 バーグラフ	999 (END)	4P
S01-19	表示パターン任意設定 P5 上段	999 (END)	4P
S01-20	表示パターン任意設定 P5 中段	999 (END)	4P
S01-21	表示パターン任意設定 P5 下段	999 (END)	4P
S01-22	表示パターン任意設定 P6 バーグラフ	999 (END)	4P
S01-23	表示パターン任意設定 P6 上段	999 (END)	4P
S01-24	表示パターン任意設定 P6 中段	999 (END)	4P
S01-25	表示パターン任意設定 P6 下段	999 (END)	4P
S01-26	表示パターン任意設定 P7 バーグラフ	999 (END)	4P
S01-27	表示パターン任意設定 P7 上段	999 (END)	4P
S01-28	表示パターン任意設定 P7 中段	999 (END)	4P
S01-29	表示パターン任意設定 P7 下段	999 (END)	4P
S01-30	表示パターン任意設定 P8 バーグラフ	999 (END)	4P
S01-31	表示パターン任意設定 P8 上段	999 (END)	4P
S01-32	表示パターン任意設定 P8 中段	999 (END)	4P
S01-33	表示パターン任意設定 P8 下段	999 (END)	4P
S01-34	表示パターン任意設定 P9 バーグラフ	999 (END)	4P
S01-35	表示パターン任意設定 P9 上段	999 (END)	4P
S01-36	表示パターン任意設定 P9 中段	999 (END)	4P
S01-37	表示パターン任意設定 P9 下段	999 (END)	4P
S01-38	バックライト 点灯動作	自動消灯	4P
S01-40	バックライト 輝度調整	2	4P
S02-01	相線式	三相 3 線 (設定変更不可)	4P
S02-07	電圧入力定格	110V (設定変更不可)	4P
S02-02	VT-次側定格値	110. 0V	4P
S02-11	EVT 三次側定格値	110. 0V	4P
S02-12	零相電圧 最小表示値	3. 0V	4P
S02-13	完全地絡電圧	110. 0V (VT-次側定格値の 1 倍値)	4P
S02-04	使用周波数	60Hz	4P
S03-01	アナログ出力 1 項目	RS 線間電圧	5P
S03-02	アナログ出力 2 項目	周波数	5P
S03-03	アナログ出力 3 項目	最大零相電圧	5P
S03-04	アナログ出力 4 項目	零相電圧	5P
S04-01	RS-485 通信局番	000	5P
S04-02	RS-485 通信速度	9600BPS	5P
S04-01	Modbus 通信局番	000	5P
S04-02	Modbus 通信速度	9600BPS	5P
S04-03	Modbus パリティ・ストップビット	無・1	5P
S06-01	警報出力 1 項目	無	6P
S06-02	警報出力 1 設定値	0	6P
S06-03	警報出力 2 項目	無	6P
S06-04	警報出力 2 設定値	0	6P
S06-05	警報出力 2 動作時間	0. 00 秒 (瞬時)	6P

設定についての注意事項

本メータでは、下記設定値を変更すると、他の設定値を強制的に初期化します。

下記記載の設定値を変更した場合は、「初期化される設定値」を再設定してください。

影響を与える設定値		初期化される設定値			
設定番号	設定項目	基本操作設定		拡張操作設定	
S02-02	VT-次側定格値	S02-12	零相電圧 最小表示値 ※1	S11-03	線間電圧表示点減H(予定指針付)
		S06-02	警報出力1 設定値	S11-04	線間電圧表示点減L(予定指針付)
		S06-04	警報出力2 設定値 ※1	S11-28	零相電圧表示点減H(予定指針付) ※1
		-	-	S11-29	零相電圧表示点減L(予定指針付) ※1
S02-13	完全地絡電圧	S02-12	零相電圧 最小表示値 ※1	S16-02	バーグラフ線間電圧最大目盛
		S06-04	警報出力2 設定値 ※1	S16-06	バーグラフ零相電圧最大目盛 ※1
		-	-	S11-28	零相電圧表示点減H(予定指針付) ※1
		-	-	S11-29	零相電圧表示点減L(予定指針付) ※1
S06-01	警報出力1 項目	S06-02	警報出力1 設定値	S16-06	バーグラフ零相電圧最大目盛 ※1
S06-03	警報出力2 項目	S06-04	警報出力2 設定値 ※1	-	-

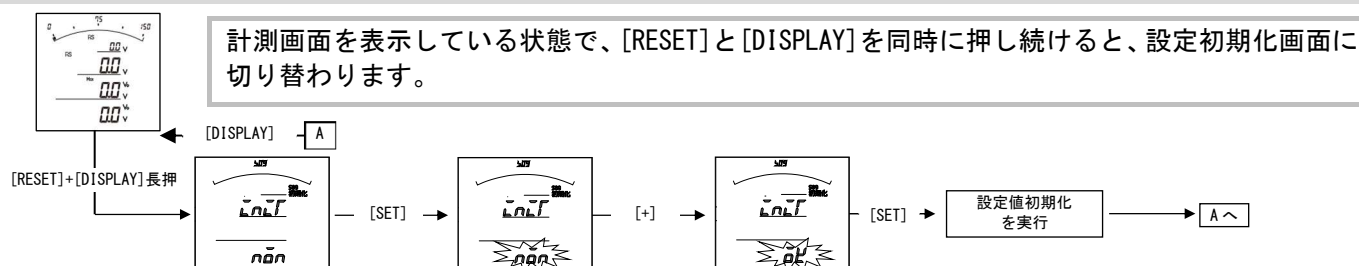
※1 設定項目「完全地絡電圧」の設定値によって「初期化される設定値」の初期値が異なります。

- ・ VT-次側定格値の1倍値 : 「設定項目一覧」に記載している初期値のまま。
- ・ VT-次側定格値の $1/\sqrt{3}$ 倍値 : 「設定項目一覧」に記載している初期値の $1/\sqrt{3}$ 倍値。

設定コード一覧

番号	項目	バーグラフ表示	デジタル表示上段	デジタル表示中段	デジタル表示下段	アナログ出力	警報出力	RS-485
000	無	○	○	○	○	○	○	
020	線間電圧	○ (一括)	○ (一括)	○ (一括)	○ (一括)	○ (最大相)	○ (最大相)	
021	R-S 線間電圧	○	○	○	○	○	○	○
022	S-T 線間電圧	○	○	○	○	○	○	○
023	T-R 線間電圧	○	○	○	○	○	○	○
070	周波数 (45~65Hz)	○	○	○	○	○	○	○
071	周波数 (45~55Hz)	○				○		○
072	周波数 (55~65Hz)	○				○		○
200	零相電圧		○	○	○	○	○	○
210	最大零相電圧		○	○	○	○		○
999	終了コード (END コード)	○	○	○	○			

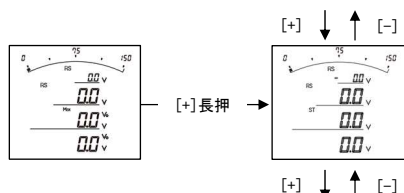
設定初期化



設定値の初期化について

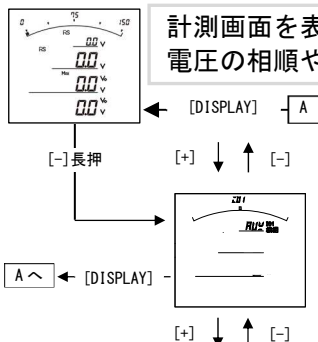
- ・ 設定値の初期化を行うと、内部の設定値が7ページ記載の初期値に戻ります。
- ・ 設定値を初期化すると、各計測値の最大・最小値もリセットされます。
- ・ 各設定値が初期化されますので、現在の設定値を確認、控えた上で初期化を行ってください。

詳細表示について



計測画面で表示している計測値以外を確認する場合は、計測画面を表示している状態で、[+] を押し続け、詳細表示画面に切り替えることで可能です。どの画面からでも。[DISPLAY] キーを押し続けると、計測画面に戻ります。詳しくは、詳細取扱説明書（基本操作編）を参照してください。

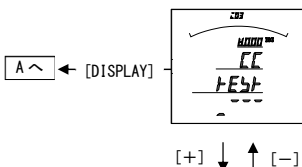
状態表示について



計測画面を表示している状態で、[-] を押し続けると、状態表示画面に切り替わります。電圧の相順や CC-Link の状態が確認できます。

検相表示

- 電圧の相の状態をバーグラフに表示します。
(右方向にバーが動くとき正相になります。)
- [DISPLAY] 長押しで、計測画面に戻ります。

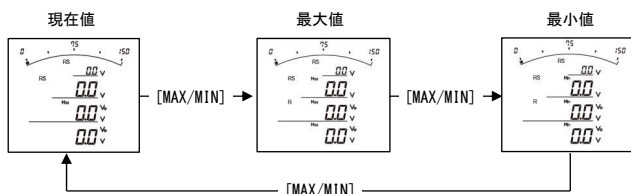


CC-Link 状態表示(オプション 1 が CC-Link の場合)

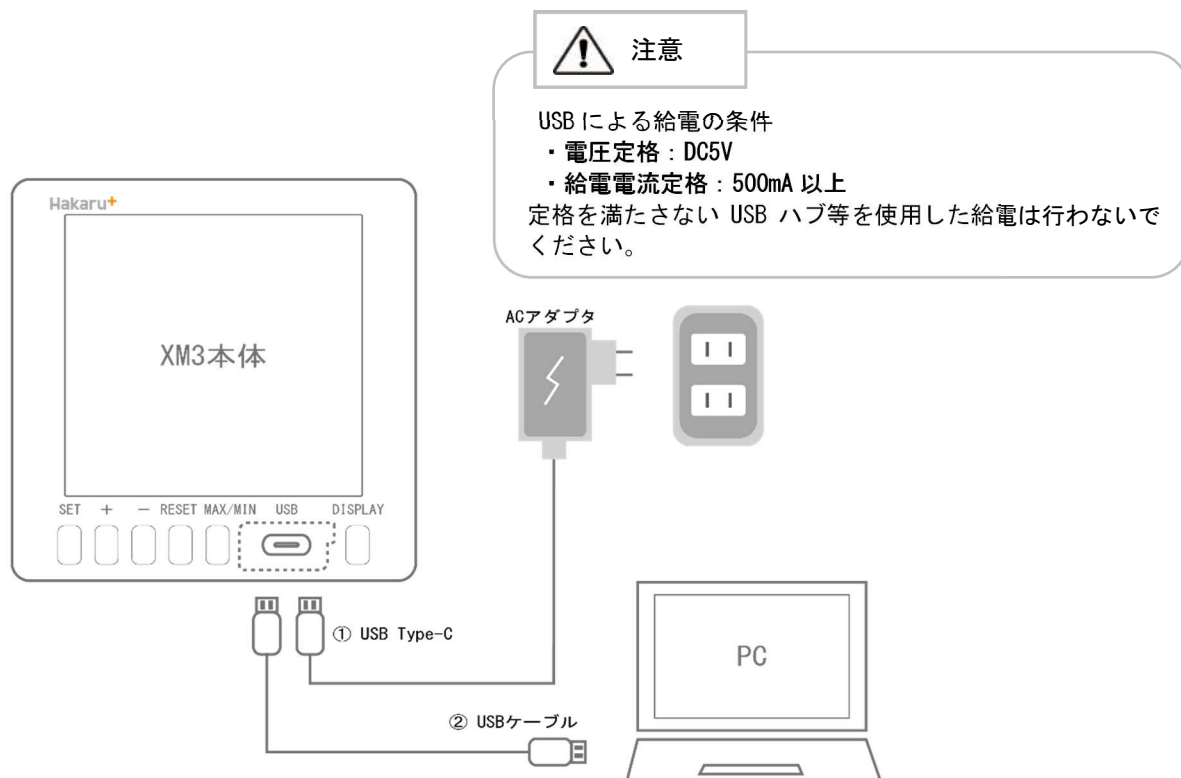
- CC-Link の [RUN] ・ [ERR-L] ・ [SD] ・ [RD] ランプの状態を表示します。
- 左から [RUN] ・ [ERR-L] ・ [SD] ・ [RD] ランプの状態を表示します。
- バーが上にある状態が ON になります。(図では [RUN] ・ [SD] ・ [RD] ランプが ON)
- [DISPLAY] を押すと、計測画面に戻ります。

最大・最小表示について

計測表示・詳細表示中に、[MAX/MIN] を押すと、最大値・最小値を切替えて表示します。



計測画面を表示している状態で、[RESET] と [MAX/MIN] を同時に押し続けると、全ての計測値の最大値・最小値をリセットします。



- ① XM3-110 側の USB 挿入口に Type-C ケーブルを差し込む。
- ② PC 側にケーブルを接続する。

※ PC からの USB による給電が可能です。これにより、補助電源なしで画面の確認や本体設定を行うことができます。

補助電源と USB による給電を同時に行う際、投入順によっては計測器本体が再起動する場合があります。詳細は以下をご参照ください。

電源供給のパターン

1. USB 給電中に補助電源を投入する場合、XM3 は再起動します。
画面が再点灯するまで操作は行わないでください。
2. 補助電源で動作中に USB 給電を開始し、その後補助電源を遮断する場合
XM3 は再起動します。
画面が再点灯するまで操作は行わないでください。

〈 MEMO 〉

テストモード

アナログ出力のテスト及び調整、警報出力テスト、通信テストがキー操作で可能です。
詳しくは、詳細取扱説明書（基本操作編）を参照してください。

設定値メンテナンス用ツール

専用ソフトをパソコンにインストールし、前面パネルの Type-c コネクタにケーブルを接続することで、メータ内の設定値の読み込み、書き込みが可能です。
詳しくは、設定値メンテナンス用ツールソフトの取扱説明書を参照してください。

文字表示パターン

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	#	\$	/	SP
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	#	\$	/	SP

品質・性能向上のため、記載内容はお断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

ハカルプラス 株式会社

URL : <https://hakuu.jp>

本社・工場 〒532-0027 大阪市淀川区田川 3-5-11 TEL : 06-6300-2112
FAX : 06-6308-7766